

令和2年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

1 施設の概要等

施設名	広島県立中央森林公園（公園センター等地區）		
所在地	三原市本郷町上北方 1315		
設置目的	すぐれた自然環境にある森林を保護するとともに、その利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び福祉に資する。		
施設・設備	三景園、駐車場、バーベキュー広場、運動広場、サイクリングロード、研修室等		
指定管理者	4期目	H31.4.1～R6.3.31	(一財)中央森林公園協会
	3期目	H26.4.1～H31.3.31	(一財)中央森林公園協会
	2期目	H21.4.1～H26.3.31	(一財)中央森林公園協会
	1期目	H18.4.1～H21.3.31	(財)中央森林公園協会

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	利用状況	4期	R2	267,000人	228,900人	△28,800人
R1			267,000人	257,700人	△5,820人	△9,300人 (96.5%)
3期平均 H26～H30		250,000人	263,520人	25,260人	13,520人 (105.4%)	
2期平均 H21～H25		255,800人	238,260人	△7,807人	△17,540人 (93.1%)	
1期平均 H18～H20		—	246,067人	26,567人	—	
H17 (導入前)		—	219,500人	—	—	
増減理由	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設の一部利用休止を行った4、5月を除く、6月以降の利用者数は前年度より増加したが、年度を通じた利用者数は目標を達成することができなかった。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	アンケートの実施	三景園の来園者 (46件)
調査実施内容	【主な意見】	【その対応状況】
	三景園で子供を対象としたイベントを開催してほしい。	三景園もみじ祭りにおいて幼児・児童を対象とした絵画コンクールを実施した。

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務実績報告書
	日報 (必要随時)	—	
管理運営会議等 (随時)	【特記事項等】 広島空港周辺施設との連携を図る。 【指定管理者の意見】 地域の中核施設である三景園の老朽箇所の修繕や三景園ガイドの作成を進めて利用者の満足度向上を図り、空港周辺施設との連携を進めたい。 【県の対応】 指定管理者と連携しながら計画的に修繕を実施するとともに、空港周辺施設との連携に協力する。		
現地調査 (3月)			

5 県委託料の状況

(単位：千円)

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金 収入 (決算額)	年度		金額	対前年度増減
	4期	R2	57,980	4,722		4期	R2	40,739	△5,259
		R1	53,258	2,343			R1	45,998	1,640
	3期平均 H26～H30		50,915	1,415		3期平均 H26～H30		44,358	5,035
	2期平均 H21～H25		49,500	4,880		2期平均 H21～H25		39,323	△3,013
	1期平均 H18～H20		44,620	△22,750		1期平均 H18～H20		42,336	12,749
	H17 (導入前)		67,370	—		H17 (導入前)		29,587	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		R2 決算額	R1 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	57,980	53,258	4,722	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う県からの利用制限による料金収入減収分に対する委託料の増
		料金収入(※1)	40,739	45,998	△5,259	新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減
		その他収入	42,940	57,062	△14,122	新型コロナウイルス感染症の影響による食堂など販売収入の減
		計(A)	141,659	156,318	△14,659	
	支出	人件費	64,875	58,122	6,753	委託業務の一部直営化による臨時職員の増
		光熱水費	7,457	9,118	△1,661	経費節減(LED化等)による減
		設備等保守点検費	11,859	24,271	△12,412	委託業務の一部直営化による減
		清掃・警備費等				
		施設維持修繕費	13,071	3,993	9,078	獣害防止柵改修等による増
		事務局費	3,564	3,924	△360	
その他		39,841	50,927	△11,086	新型コロナウイルス感染症の影響による販売収入の減少に伴う販売原価の減	
計(B)	140,667	150,355	△9,688			
	収支①(A-B)	992	5,963	△4,971		
自主事業 (※2)	収入(C)	—	—	—		
	支出(D)	—	—	—		
	収支②(C-D)	—	—	—		
合計収支(①+②)		992	5,963	△4,971		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、利用者ニーズ等を踏まえた各種イベントを実施した結果、施設の一部利用休止を行った4、5月を除く、6月以降の利用者数は、前年度より増加した。	新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、利用者ニーズを踏まえて各種イベントを開催するなど、適切に業務運営を行っている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	老朽化したレンタサイクルの更新や電動アシスト自転車の導入を行うなど、利用環境の向上に取り組んだ。	利用環境の改善に取り組み、県民サービスの向上に努めている。
	○業務の実施による、施設の利用促進	都市緑化フェアスポットイベントに取り組む、若年層を対象に絵画コンクールを実施するなど、利用促進に努めた。	新たなイベントの企画・実施に積極的に取り組み、更なる利用者の確保に取り組んでいる。
	○施設の維持管理	展望広場周辺の樹木伐採、三景園内の間伐を行い、眺望の確保と景観の改善を図った。	安全で快適な利用環境の提供に努めている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	草刈・トイレ清掃等の委託業務の一部直営化により、労務配置に柔軟性を持たせ、管理の効率化を図った。	業務全体を把握し、組織体制の見直しに努めている。
	○効率的な業務運営	シャワーの給湯をボイラーから瞬間湯沸かし器の個別配置に変更し、費用縮減と利用者の待ち時間の解消を図った。	効率的な業務運営に取り組んでいる。
	○収支の適正	利用者数の減少により大幅な減収となったが、収支の適正化に努め、収支は黒字を計上した。	業務の見直しを適宜行うことにより、収支の適正化に努めている。
総括		<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントや空港周辺地域の連携事業が中止又は規模縮小となり、利用者数の目標は達成できなかった。</p> <p>今後、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、更なる利用促進に取り組む、引き続き、収支の黒字化を図る。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら臨機応変に対応するとともに、近年利用者が減少傾向にあることから、イベントの開催時期を含めた利用者ニーズの調査・分析を行い、より効果的なサービスの提供に取り組む必要がある。</p>

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和3年度)	新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を継続し、利用者ニーズを踏まえ、引き続き、公園全体の利用促進のため、集客力の強化を図る。	安定的な利用者確保のため、更なる改善に努める必要があり、より効果的なサービスの提供ができるよう支援する。
中期的な対応	利用者増となるよう、空港周辺の周遊性も含めた、三景園や公園センターの魅力向上とともに、施設の更なる利用環境の改善を図る。	施設ごとに利用者ニーズを把握し、空港周辺施設を含めた、利用促進策について、必要な支援を行う。